

# ○ チモ（知母）



## 語源

ハナスゲ属 *Anemarrhena* は、ギリシャ語の否定の接頭辞 ア+ネーマ「糸」+アッレーン「男、雄」で、ハナスゲ属の植物が花糸のない葯（やく）であることを指すとする説や、ギリシャ語でアネモス「風」+アッレーン「男、雄」で、ハナスゲが丈夫で風に強いことに由来するという説がある。種小名の *asphodeloides* は、「ツルボラン属 *Asphodelus* のような」の意。和名のハナスゲとは、葉がスゲに似て、スゲよりきれいな花が咲くことから。

また、生薬名の知母は、ハナスゲの古い根のそばに子球あるいは株が生じ、その根の形が「蛭母（チボウ）」（アリやアブの卵のこと）に似ていたことからチボウと呼ばれ、それが訛って知母となったという説、あるいは、知母に関する民話で、身寄りのない薬草採りの老婆が、自分を母親のように親切に助けた木こりの夫婦に、「母の心を知る息子にめぐりあえた」といってハナスゲの根が薬草であることを教えたことから、その名が「知母」になったという説もある。

## 基原

*Anemarrhena asphodeloides* Bunge ハナスゲ（花菅）  
ウマノスズクサ科 多年生草本

## 薬用部分

根及び根茎

## 産地

中国（河北、山西、内蒙古、甘肅、陝西、東北など）  
日本へは享保年間（江戸時代中期）に渡来し栽培されているが、生薬の生産はない。

## 主な成分

ステロイドサポニンのチモサポニンA-I、A-II、A-IV、キサントンのマンギフェリン、その他、イソマンギフェリン、タンニン、パントテン酸、ニコチン酸

## 主な薬効

鎮静、鎮咳、解熱、利尿、消炎、止瀉

## 代表的処方

漢方処方用薬である。解熱薬とみなされる処方及びその他の処方に少数例配合されている。

### 【辛夷清肺湯】

シンイセイハイトウ

体力中等度以上で、濃い鼻汁が出て、ときに熱感を伴うものの次の諸症：鼻づまり、慢性鼻炎、蓄膿症（副鼻腔炎）

（処方内容） 辛夷／知母／百合／黄芩／山梔子／麦門冬／石膏／升麻／枇杷葉

### 【酸棗仁湯】

サンソウニントウ

体力中等度以下で、心身が疲れ、精神不安、不眠などがあるものの次の諸症：不眠症、神経症

（処方内容） 酸棗仁／知母／川芎／茯苓／甘草

### 【消風散】

ショウフウサン

体力中等度以上の人の皮膚疾患で、かゆみが強くて分泌物が多く、ときに局所の熱感があるものの次の諸症：湿疹・皮膚炎、じんましん、水虫、あせも

（処方内容） 当帰／知母／地黄／胡麻／石膏／蝉退／防風／苦参／蒼朮（白朮）／荊芥／木通／甘草／牛蒡子

### 【白虎加人参湯】

ビャッコカニンジントウ

体力中等度以上で、熱感と口渇が強いものの次の諸症：のどの渇き、ほてり、湿疹・皮膚炎、皮膚のかゆみ

（処方内容） 知母／石膏／甘草／粳米／人参

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「和漢薬の事典」「日本薬草全書」「一般用漢方製剤承認基準」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力  
**福田龍株式会社**

（お問い合わせ） 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11  
TEL：06-6364-5861 FAX：06-6364-6562  
URL：www.fukudaryu.co.jp